

## 第 32 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 18 年 4 月 11 日 ( 火 ) 13 : 30 ~ 20 : 15

場 所 西宮市男女参画センター : 4 1 1 号室

出席者 ( 委員 ) 松本 ( 誠 )、奥西、川谷、畑、浅見、村岡、伊藤、岡田、加藤、草薙、  
酒井、佐々木、土谷、中川、山仲  
( 河川管理者 ) 田中、森田、渡邊、前川、前田、西村、合田  
( 事務局 ) 林、長尾、植田

内 容 ( 協議結果 )

### 1 貯留施設の検討及び基本高水の考え方等

協議した結果、次の事項を確認した。

#### ( 1 ) 貯留施設の検討

本日、総合治水 W T に県が説明した貯留施設に関する課題等を整理した事項を次回流域委員会に報告する。

既設ダムの治水活用における選択の可能性を検討するにあたって、総合治水 W T 会議で水道事業関係者等に対してヒアリングを行う。日程については、事務局で早急に調整する。

#### ( 2 ) 基本高水の考え方

基本高水は対策可能な範囲で決めるべきでない。

流域委員会が基本高水を設定した考え方や数値は方法論としては間違っていない。

畑委員の案 ( 第 22 回委員会 資料 2-9 ) の内容について改めて検討を行った。将来的には、流量観測等を整備することなどにより、より実測流量に依拠した流出予測を行うことのできる方向性を探ることが課題になるが、これまで委員会で検討してきた流出解析と異なる定義の手法を現段階で参考指標とするのは難しい。

幅を持った現在の基本高水の数値の絞り方については多様な観点から検討を行ったが、なお収斂していない。昨年 9 月以降、各委員の考え方も変わっている可能性もあり、W T での論点の整理を行ったうえで基本高水を選択についてどう考えているのか、次回流域委員会で各委員から意見を聴き、再度 W T で議論する。

#### ( 3 ) 基本方針のあり方と整備計画の関係について

基本方針と整備計画の関係について、第 28 回流域委員会 ( 11 月 8 日 ) 以降の宿題になっていた「河川整備基本方針の位置づけと河川整備計画の関係」( 第 30 回総合治水 W T 会議資料 ) を次回委員会に報告し、基本方針に盛り込む中身やアウトプットのあり方について、整備計画との関連で議論する。

#### ( 4 ) その他

整備計画の目標流量と対策については、河道の分担量を至急つめた上で、コストと時間を判断材料として検討する。

### 2 その他

#### ( 1 ) 次回以降の会議の協議事項

洪水調節施設  
総合治水対策  
基本方針、整備計画の河道分担

(2) 今後の日程(開催日時)

第33回	4月19日(水)	17:30~
第34回	4月25日(火)	13:30~
第35回	5月11日(木)	17:00~
第36回	5月16日(火)	13:30~
第37回	5月23日(火)	13:30~
第38回	5月30日(火)	13:30~

当日配付資料

- 資料1 貯留施設の最適化の考え方
- 資料2 武庫川における既設ダムの検討(様々な降雨規模での既設ダムの効果量算定)
- 資料3 武庫川における遊水地の検討(様々な降雨規模での遊水地の効果量算定)
- 資料4 新規ダムの課題に関する現時点の見解
- 資料5 水道事業者ご関係者との意見交換 趣意 (村岡委員)
- 資料6 地下調節池の検討(伊藤委員)